



平成 25 年 8 月 5 日

国土交通省水管理・国土保全局砂防部
国土交通省国土技術政策総合研究所
独立行政法人土木研究所

インドネシアにおける天然ダム決壊の規模は我が国の戦後最大規模の天然ダム決壊（昭和 28 年和歌山県有田川災害）に相当することが判明

インドネシアにおいて発生した天然ダム決壊による災害に対し、衛星画像解析を行ったところ、約 1,300 万 m^3 （東京ドーム約 10 杯分）の規模の洪水が発生したことが判明しました。この規模の天然ダム決壊による災害は、我が国にあてはめると戦後最大級の規模に相当するものです。国土交通省では、これらの分析結果をインドネシア政府に提供するとともに、調査団派遣を予定しています。

- ① 平成 25 年 7 月 25 日に決壊したインドネシア国マルク州アンボン島ウェイエラ川の天然ダム周辺の人工衛星画像を国土技術政策総合研究所砂防研究室と（独）土木研究所火山・土石流チームが共同で解析したところ、決壊によって約 1,300 万 m^3 の水が数時間の内に天然ダムから流出し、洪水被害をもたらしたことが判明しました。
- ② これは、我が国の戦後最大級の天然ダム決壊事例である昭和 28 年和歌山県有田川災害時に決壊した最大の規模のものに相当します。
- ③ 国土交通省では、これらの解析結果をインドネシア政府に提供するとともに、現地へ調査団の派遣を予定しています。

（参考 1） アンボン島ウェイエラ川の天然ダム決壊災害の概要（参考資料 1）

（参考 2） これまでの国土交通省の技術的支援の経緯（参考資料 2）

（参考 3） 昭和 28 年和歌山県有田川災害の概要（参考資料 3）

問い合わせ先

(全般)

国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課地震・火山砂防室

室長 岡本 敦 (内線 36-151)

課長補佐 山越隆雄 (内線 36-152)

国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課

課長補佐 林 孝標 (内線 36-142)

代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8468

FAX 03-5253-1610

(衛星画像解析)

国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター砂防研究室

室長 蒲原潤一 (内線 3921)

主任研究官 水野正樹 (内線 3922)

代表 029-864-2211

直通 029-864-4372

FAX 03-5253-1610

独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ火山・土石流チーム

上席研究員 石塚忠範 (内線 4521)

主任研究員 森田耕司 (内線 4522)

代表 029-879-6700

直通 029-879-6785

FAX 029-879-6729